

元気なまちかど

No.1

草刈り作業でまちを美しく ゆうゆう水口クラブによる奉仕作業

ゆうゆう水口クラブ会員による草刈りなどの奉仕作業が6月15日、あいこつが市民ホール周辺で行われました。

この奉仕作業は、自分たちのまちはみんなで美しくしようと20年以上続けられており、草木が伸びるこの時期に毎年実施されています。

この日は会員の皆さんや市職員など約80人が参加し、早朝から汗を流しました。

参加者は慣れた手つきで草刈りやサツキの刈込み作業などを行い、およそ3時間の作業で公共施設周辺はすっきりと美しくなりました。



▲草刈りを行う会員の皆さん

No.2

躍動感ある唄声響く

第25回鈴鹿馬子唄全国大会

第25回鈴鹿馬子唄全国大会が6月19日、あいの土山文化ホールで開催されました。市内外から集まった一般97人、少年少女30人の計127人が、躍動感のある唄声を披露し、競い合いました。

決勝では、甲賀市の田中千鶴さんが見事総合優勝に輝きました。

また土山の小学校児童による合唱も行われ、参加者の美しい歌声に大きな拍手が響いていました。

市内の入賞者（敬称略）

- 少年少女の部
 - 2位 小西風道
 - 4位 馬場史仁
 - 7位 奥村小雪
 - 9位 富田美調
 - 10位 出口さくら
- 総合優勝 田中千鶴
- 一般の部（69歳以下）
 - 1位 田中千鶴
- 高年の部（70歳以上）
 - 5位 倉繁征吾



▲総合優勝に輝いた田中さん

No.3

水の大切さを学ぶ

綾野小学校水道学習会

社会科学習の一環として綾野小学校4年生の児童が6月21日、水道について学びました。市上水道課職員が水道の役割や水の大切さを考えてもらおうと、小学校に出向き、授業を行っています。

児童たちは担当職員から、水道水になるまでの過程について図や写真を用いた説明を熱心に聞き取っていました。また体験学習として、配水池の水が、家の蛇口に届くまでの流れが分かる模型を操作して水道の仕組みを学びました。



▲水の流れを模型で観察する児童

No.4

連携して防災体制を強化

甲賀広域消防連合夏期訓練大会

甲賀広域消防連合による夏期訓練大会が6月26日、白井松新薬株式会社滋賀工場で開催されました。

この訓練は、大規模地震発生による被害を想定し、甲賀市および湖南市の各防災関係機関と民間企業が連携した防災体制を確立する目的で実施され、同社社員や消防関係者ら約360人が参加しました。

この日は現場指揮本部の設置、救助、応急救護や火災防衛活動などの訓練が行われ、ヘリコプター2機も出動しました。参加者は本番さながらの緊張感の中、災害時の行動を確認しました。



▲応急救護の訓練をする女性消防隊員

今が旬のコアユを給食で

「びわ湖の日」献立給食

市内の小中学校で7月1日、「びわ湖の日」献立給食が振る舞われ、東部学校給食センターでは、今が旬の琵琶湖でとれたコアユと市特産の土山茶を使った「こあゆのお茶あげ」メニューが提供されました。

この日甲南第一小学校6年2組の教室には、琵琶湖で漁業を営む漁師さんと県の水産課職員が訪れました。琵琶湖のコアユに関する生態や食文化などの説明に、児童たちは熱心に聞き入っていました。

コアユを食べた児童は、「少し苦いけど臭みがなくておいしい。お茶の香りもする」と話し、おかわりをする児童の姿が何人も見られました。



▲漁師さんからコアユの説明を聞く児童

心地よい演奏と車窓の風景を楽しむ

信楽高原鐵道「七夕列車」

信楽高原鐵道の七夕企画として、今年で15回目を迎える「七夕列車」が7月2日、3日に運行し、多くの家族連れでにぎわいました。

列車内は色とりどりの七夕の飾りで装飾され、市内で活動するオカリナサークルによる「七夕」や「ふるさと」などの童謡が演奏されました。演奏にのせて乗客たちが歌を口ずさむという場面も見られ、素敵なハーモニーが車内に響きました。

心地よい演奏と車窓から見える風景を楽しみながら、乗客たちは少し早い七夕を過ごしました。



▲七夕飾りで装飾された列車内での演奏